

進路指導部通信

県立高等特別支援学校

進路指導部

2018. 9. 21 NO. 4

記録的な猛暑となった2018年の夏が過ぎ、2学期は記録的な台風とともに始まりました。本校も始業式翌日が臨時休校となりました。2学期早々に企業に実習に行くことが決まっていた3年生の生徒の中には、その日が実習初日だった生徒もいましたが、各自各居住地の気象情報を確認して自宅待機をすることができました。指示を守り、落ち着いた対応がとれていたと思います。現場実習では警報が発表された場合、直ちに実習中止となりますが、結合実習の場合は実習中止とはならず、ひとまず自宅待機となります。警報解除後には実習に行けるように準備をして学校からの連絡を自宅で待ちます。警報が解除されると、企業と学校が連絡を取り合い、通勤が可能なことが確認できると、本人に出勤指示の連絡が入ります。9月10日(月)に警報が発表された時も、午前中に警報が解除となった地域の生徒は、午後から現場に出勤しました。警報が出ても解除時にすぐに出勤できる準備を整えておくことが大切です。3年生になると臨機応変な対応が求められます。日頃からいろんな経験を積んで対応できる力をつけていってほしいと思います。

そんな波乱気味の2学期の幕開けでしたが、生徒たちは限られた日数の中で体育大会に向けて準備を進めてきました。タイトなスケジュールの中で、準備や練習に精一杯取り組んできました。この時期に毎年思うことですが、体育大会や文化祭の練習には働くために必要な多くのスキルが含まれています。時間管理や体調管理、集中力に根気強さ、協調性と自主性、それぞれの課題に応じてしっかり力をつけていくよい経験となります。中でも、生徒の本当の力が垣間見られるのは、目立たない準備や後片づけの時だと思って毎年生徒達の動きを見えています。スポットの当たらない裏方の仕事にも手を抜かず一生懸命取り組むことができるかどうか、そこが就労してからもずっと変わらず働き続けることができるかどうかを表している重要なポイントであると思っています。今年は練習時間も準備時間も限られた中で大変だったと思いますが、その中でもできることに精いっぱい取り組んだ

成果を本番で発揮してくれることを期待しています。また体育大会が終わった後は、そこで身につけた力を今後の学校生活で発揮してほしいと思います。

3年生就職活動の様子（8～9月）

8月、夏休み中に実習のお話が来た3年生は猛暑の中実習に取り組みました。今年は記録的な猛暑となりましたが、実習に臨んだ3年生はしっかり体調管理をし、休むことなく実習に取り組むことができていました。

9月、台風で実習が延期となった企業もありましたが、今月も引き続き3年生は企業のスケジュールにあわせて実習に取り組んでいます。また、神戸、尼崎、姫路の3会場で開催される合同面接会にも参加します。毎年、ハローワーク主催の合同面接会が、9月下旬と2～3月に行われます。多数の会社(地域によって差があります)の面接を受けられる貴重な機会です。それぞれの地域に通える居住地に住んでおり、まだ結合実習のお話が来ていない生徒が対象となります。学校の結合実習のお話は、「1人1社」で複数の企業を同時進行で進めることはできませんが、合同面接会に限って、複数の会社を同時進行で進めることが可能で、昨年度も複数の企業から内定をいただいた生徒もいました。貴重な出会いの場となっています。

9月16日から『平成31年3月高等学校等新規卒業予定者を対象とする採用選考』も始まっています。実習を終えた生徒の中には、企業からの求人票が届き、応募を済ませた生徒もいます。今後選考が行われていきます。選考に合格すれば、内定をいただくことになります。企業によって内定をいただく時期は異なります。比較的早く内定をいただける企業もあれば、同じように実習がうまくいっていても何度も実習を重ねてからじっくり内定を出す企業もあります。ミスマッチを防ぐという意味では、後者の方がうまくいくことが多く、歓迎すべき企業の姿勢であると感じております。他の人の動向が気になる時期ではありますが、自分の進路は自分だけのものであって誰かと比べるものではありません。内定のでる時期に振り回されないことがないよう、常に前向きに実習にチャレンジしてほしいと思います。また、内定がでた際には「内定＝ゴール」ではないこと、ただスタートラインに立っただけということをお忘れず、卒業までさらに精進して社会人に必要な力を身につけていってください。